

SOS ニュース

2040年 90歳代激増『介護崩壊の懸念』

医療や介護の必要な高齢者が、首都圏で爆発的に増える時代が目前に迫っている。2040年までに一都三県の75歳以上の人口は10年比でほぼ倍増。90歳以上は5.2倍で最も人口が増える年齢層になるなど、世界でも類をみない超高年齢都市が出現する。一方で人口減少には歯止めがかからず、医療や介護の仕組みを維持できるのか。

多摩市に今春、5つ目の特別養護老人ホームができる。3年前の調査ですでに300人近い待機者を抱え市民には待望の施設だが、「さらに増やせるのか」と市の悩みは大きい。

問題はいろいろな形で社会生活の課題を我々につきつけているが、SOSへの相談としては、一人住まいの母親を兄弟の誰が引き取るのかとか、特養に入れないので一般の老人ホームを探しても経済的に入れないとか、お墓や遺言の話等「暮らしの相談」「家庭の相談」「税務の相談」に相談が増えています。

※ 参考：H25.1 日本経済新聞より